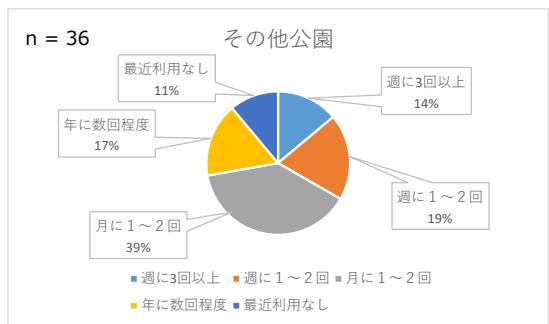
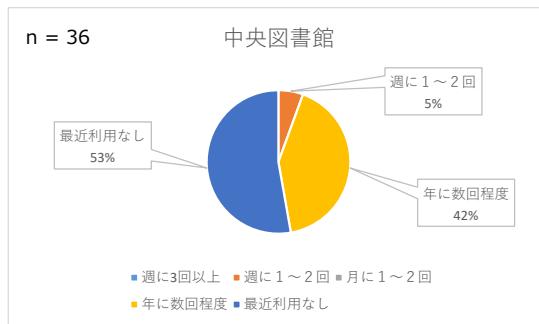
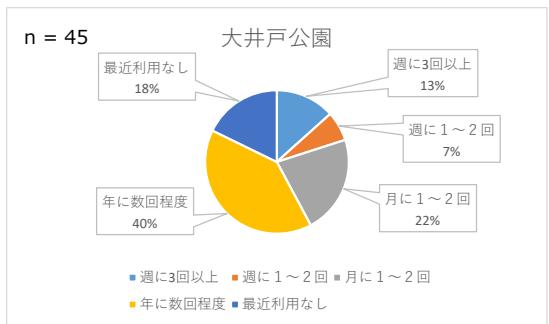
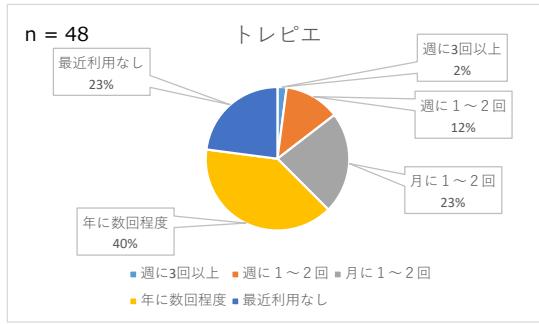
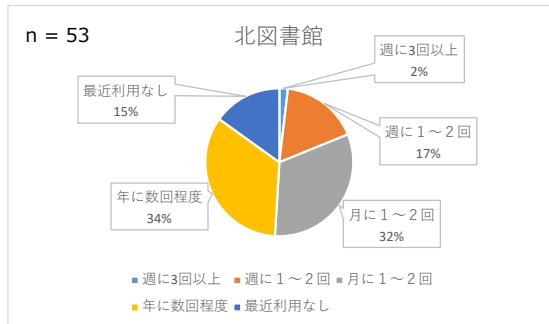


## 「新図書館整備等基本計画（素案）について」意見交換会 アンケート実施結果

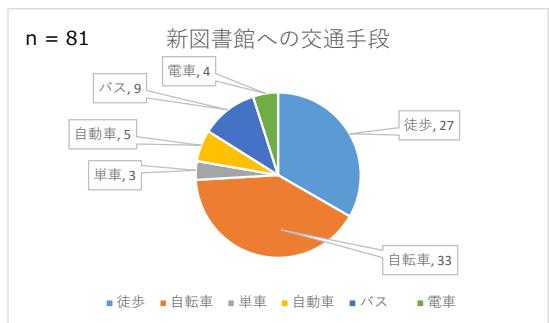
意見交換会は4か所で開催し、計76人の方にご参加いただきました。

参加者76人のうち、63人からアンケート回答をいただきました。(回収率82.89%)

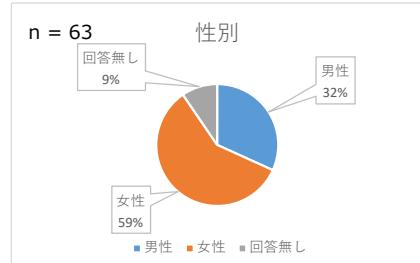
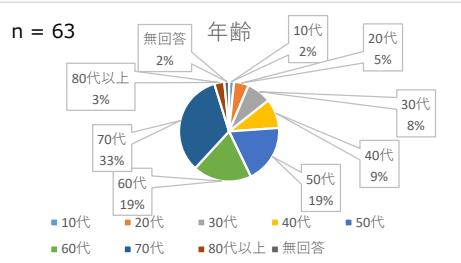
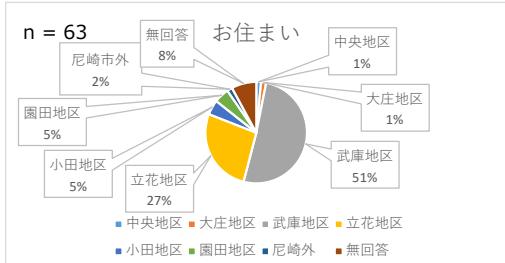
### 1 普段利用する施設と利用頻度について



### 2 新施設への交通手段について（複数回答可）



### 3 よろしければ、当てはまるところに○をつけてください。



意見交換会の内容に関するアンケートについて、ご意見とそれに対する考え方は以下のとおりです。  
参加者76人より計153件のご意見をいただきました。

新図書館整備等基本計画(素案)に関するご意見	回答
計画について 計31件	
市民のみなさんが来なくなる場所をつくってほしい。	
市民が使いやすくなつてほしい。	
武庫之荘プランディングはとても重要だと思う。	
公園、道路整備含めて、実施するところで、とても期待している。武庫之荘の街がより良くなれば感じた。	
まちのデザインがおしゃれな、他でも行われているものの“マネ”ではなく尼崎らしいものにしてほしい。	
新図書館を取巻く環境も含めて、事業者に提案して欲しい。	
完成を楽しみにしている。未来に向けて長く使える施設を望む。	
文化交流ができる武庫之荘を期待する。	
まちづくりコンセプトは良いと思った。武庫之荘、尼崎の代表となる建築物になると良い。	『日常をワクワクと安心で彩るまち～世代を超えて住み継がれる期待あふれる暮らしへ』をまちづくりのコンセプトとして、みなさまにとって有意義で長く愛される尼崎らしい施設の整備を進められるよう、また、この取り組みによって、まちの魅力向上につながるよう計画してまいりたいと考えています。
武庫之荘エリアが更に活性化することを切に期待する。	
市民にとって有意義な施設となるよう、お願いしたい。美観や環境なども考慮してほしい。	
公園や道路との一体感や、地域とのつながりや、現時点でよく考えていると思った。	
建物完成前はいろいろ意見を反映できるが、完成後はいろいろ言われないよう、大変だろうがよく事前に決めておいてほしい。完成後は良い意見がたくさん来れば良いと思う。	
整備予定地の近隣に住んでいるので、使いやすい施設になればいいなと思っています。	
図書館利用者として新図書館についての話を聞きに来たが、トレビエ利用者からしたらという話があるのだなと勉強になった。	
有名建築家によるデザインで、後世に残る広告塔となる。	
つなぐ駅前(噴水)～新図書館、新図書館から他の公共施設へと、公共のあり方を再編する機会だと考える。	
税金の有効的な使い方をしてほしい。	
他の公共施設の多目的室との連携や再編をしっかり考えてほしい。無駄に箱ばかりつくっても意味がないので。	公共施設の老朽化や少子高齢化などの社会情勢の変化に伴い、将来世代への負担を軽減するため、公共施設の再編(集約・複合化など)に取り組んでおります。新たに整備する新図書館と新トレビエについても、将来世代に過度な負担を残さないよう、身の丈に合った施設規模とする必要があると考えていますが、整備するそれぞれの新施設がその機能を十分に発揮でき、まちの魅力向上につながっていくよう検討してまいります。
半分想像の世界での話し合いで力も合わない所があった。財政の話は理解できるが、この地域の先の見透しも示して欲しかった。	
複合施設(市民交流センター、男女共同参画他)にする方が人がいつも多く集まるので良いと思う。	
トレビエと図書館を一体化することで効率利用することで合理化する考え方のようであるが具体的なイメージが分からないから、もう少し具体的な計画を示して欲しい。	新図書館では、従来の図書館機能だけではなく、貸館機能を複合化することで、多世代の人が学び、集い、その成果を共有するなど活動の連鎖を期待しています。そのため、貸館部分については、さまざまな使い方が可能となる用途とすることを考えております。
新トレビエと図書館との連携という部分が具体的に見えなかった。	また、新図書館の利用者が増えることや、新トレビエでの活動と連携することで、多様な学びや活動が、さらに広がると考えております。
子育て世代の比重がかなり大きいと思った。	子育て世代だけでなく、すべての世代の方々が暮らしやすく、安心して住み続けられるまちとなるよう、様々な視点をもって検討を進めてまいります。
図書館はどの階(1階だけか、2階?)なのか、イメージがわからなかつた。	新図書館の施設規模(延床面積)については、およそ4000m <sup>2</sup> を想定しておりますが、限られた敷地の中において、事業者の提案を踏まえて、整備内容や階数を検討してまいります。
計画が実施されるには、敷地が足りないのでないか。	
新駅との連携を期待する。	本事業は、武庫川周辺阪急新駅に関する事業とも連携しながら進めており、武庫之荘周辺や尼崎の特色を活かした持続的な住環境の形成に寄与するとともに、まちの魅力の向上を図り、シビックプライドの醸成やファミリー世帯の定住・転入の促進、賑わいの創出につなげていきたいと考えております。
現北図書館の建物敷地はどうなるのか。(2件)	北図書館の跡地活用については、現在、未定です。
参画している民間事業者の提案についての説明も聞きたい。	市HPに掲載しておりますので、ご覧ください。 新図書館の整備等に係るサウディング型市場調査、HPページ番号:1040592
新施設がオープンした後、現トレビエを解体、そして建設ということだが、その間2~3年かかるので、その間のトレビエ機能移転先を早めに確保する必要があると思う。どのように想定されているのか。	現在、新トレビエの建設期間中の仮移転先については未定であり、新図書館の整備計画の進捗をみつつ、検討してまいります。

新図書館整備について 計12件	
本を読む人、学習する人だけでなく気楽に立ち寄れる図書館を望む。	現在の北図書館を利用されている方はもちろんのこと、これまで図書館を利用されたことが無い方にも気軽に立ち寄っていただける図書館を整備していきたいと考えております。
既存施設の利用者は固定化しているように思うので、幅広い利用者が活用できる施設を目指してほしい。	石川県立図書館と同等の規模の図書館をつくることはできませんが、遠方の方でも行ってみたいと思っていただけるような図書館を整備をしていきたいと考えております。
私自身、石川県立図書館に感動したので、図書館に行くために遠くの方も来られるような場所になることを楽しみにしている。	現在整備を検討している新図書館は図書館機能と貸館機能を複合した施設であるため、おにくるほどの機能の複合は考えておりませんが、おにくるのようなぎわいのある施設にしていきたいと考えております。
おにくるような施設を望む。	どの世代の方でも気軽に訪れていただける図書館にしていきたいと考えております。
世代を問わず訪ねたくなる図書館を新設してほしい。	居心地が良く、リラックスして自分らしく過ごせる「サードプレイス」となる図書館を目指して整備していきたいと考えております。
地域の住民の居間のような図書館ができるば良いと思う。	他市の事例等を参考にしながら、図書館機能を充実させるとともに、ご利用いただきやすい施設となるよう検討を進めてまいります。
図書館機能が流行にのらず、基本機能の充実化、スペース確保となって楽しみである。	情報発信は図書館の大切な役割ですが、情報発信に特化した施設とすることは考えておりません。
都内のように情報発信センターへ特化しないでほしい	貸館利用は高齢者が多い理由としては、お仕事を引退された高齢者が生涯学習の場として貸館を利用していると考えられます。新施設の貸館につきましては幅広い年齢の方にご利用いただけるものにしていきたいと考えております。
他の公民館と比べて高齢者の利用の利便性は少ないと思った。貸館利用は高齢者が多いと思うが、どうしてか。	尼崎市民でありながら、西宮中央図書館を利用している人がたくさんいる。 蔵書が尼崎の約2倍あり、大人が読みたい様々なジャンルの本が揃っているのが魅力である。ぜひ、蔵書を増やしてほしい。
尼崎市民でありながら、西宮中央図書館を利用している人がたくさんいる。 蔵書が尼崎の約2倍あり、大人が読みたい様々なジャンルの本が揃っているのが魅力である。ぜひ、蔵書を増やしてほしい。	蔵書につきましては継続的に本を受入れていくことと、受入れ可能な書庫などのハード整備の両方が必要になることから、この度の新図書館の整備に伴い、より多くの蔵書が増やせるよう進めてまいります。
幼児の頃から本に親しまないと本を読めない若者になる。 親子で、行きたくなる、キッズスペースでのボランティアさんの読み聞かせ会も頻繁に行えればいい。	新図書館は中央図書館との役割分担のなかで、児童書をより充実させるとともに、読み聞かせイベントなどのソフト事業も力を入れることで、幼少期から本に親しめる環境を作りたいと考えております。
貸館の機能は、トレピエ関係との連携を望む。 トレピエ活動グループの絵本の読み聞かせと図書館の連携など、利用者が関わることでアイデアが生まれると思う。	貸館については、各施設の設置及び管理に関する条例に基づき実施されることから連携は困難ですが、新トレピエと新図書館との主催事業の連携は可能であると認識しております。ご意見のとおり関連する事業を共催で企画するなどにより、誰もが利用しやすい施設となるよう、今後も様々なご意見を伺いながら検討を進めてまいります。
新トレピエ整備について 計7件	
トレピエを本当に新築で建て替える必要があるのか。 1つの団体の声に影響を受けすぎているのではないか。	トレピエの建物は、築50年以上経過しており、「第1次尼崎市公共施設再編計画・実施編」において、老朽化や耐震性の課題があり、周辺市有地で再編しつつ更新する施設として位置付けられています。また、市内で唯一の男女共同参画社会づくり推進拠点として、50年以上に渡りその機能を果たしてきたことから、新図書館との連携がより図りやすくなるよう、隣接する現トレピエ敷地に、引き続き、男女共同参画社会づくり・センター平等を推進するために必要な諸室を備えた施設を整備していくこととしております。
トレピエをもっと宣伝して欲しい。	トレピエで実施している相談事業、講座やセミナーなどの啓発事業等について、ホームページやSNSなどにおいて周知を図っているところです。新トレピエ整備後も引き続き周知を行うとともに、広報の仕方などを工夫していきたいと考えております。
トレピエの公共の分類についての考えを聞いて(子ども、女性のコンセプトが良い)少し安心した。また、指定管理者3者が協議体を作るのことであったので、少しホッとしており、今のトレピエの活動が保障されて、発展していくけるものを期待する。	トレピエを全館活用して実施していた行事等を継続していくため、図書館・トレピエの指定管理者、大井戸公園の管理者で協議しながら運用を検討していくのも一つの方法であると考えており、今後も様々なご意見を伺いながら検討を進めてまいります。
トレピエの運営、内容の縮小で、今後トレピエ独自の運営活用がなくなるのではないか。	新トレピエにおいて、引き続き、男女共同参画社会づくり・センター平等を推進するため、必要な講座やセミナーを実施する集会室、相談室、啓発展示スペース、託児室等を備え、センター平等な社会を推進する市内唯一の拠点施設として整備してまいります。
新トレピエには他の公共施設も入れて、いろんな人が立ち寄れる場所にしてほしい。子育て支援センターや一時あずかり保育所など。	新トレピエの複合化については、今後、新図書館整備の整備状況をみつつ、市民の皆様や事業者の提案などを踏まえて検討してまいります。
社協や自治体等、近隣で目的も近い団体と合同で新施設に入居してはどうか。(ハロワ、ボラ森、子ども食堂、子育てルーム、外国人)	
新トレピエは、他の公共施設と複合化して建替えを望みます。	
公園整備について 計7件	
大井戸公園には多くの渡り鳥が来ているので、木の伐採は注意して欲しい。	バラ園や緑豊かな環境は大井戸公園の魅力であると認識しておりますが、園内樹木の巨木化や老木化も課題となっております。
巨木を少しでも守ってほしい。	これらの課題の改善を図りつつ、新図書館との一体的な利用を考慮した広場整備などを行い、可能な限りみどりの保全やバラ園の魅力向上など、これまで以上に活かすための取り組みなどについて、市民の皆さんのご意見を踏まながら進めてまいりたいと考えております。
公園の緑はできるだけ残してほしい。	
バラ公園はそのまま残してほしい。	
公園の緑を美しく維持してほしい。	
大井戸公園もリニューアルする時に、バラや森を今と同じくらい残してほしいし、大井戸公園の1部を削って何かを建ててようなことはあまりしないでほしい。	
公園は緑豊かなままあってほしい(木と水路に野鳥がするので重要です)又、バラも名物なまま残してほしい。(ベンチも含む、散歩しやすくしてほしい) 夜間、騒がしくなってほしくはない。	

古墳について 計1件	
	文化的、歴史的価値を再考し、公園、図書館と連動してはどうか。 いただいた意見を参考にしながら、より多くの方に大井戸公園へ訪れていただけるよう、大井戸古墳の文化的、歴史的価値を再考し、活用方法について検討してまいります。
道路整備について 計3件	
	今回の計画に駅前のロータリーの改修は含まれるのか。 阪急武庫之荘「駅」のリニューアルの検討はないのか。一般的な動線の整備はどうか。 武庫之荘駅の整備もしっかりしてほしい。駅前のトイレは死角になっていて邪魔だ。とにかく狭いので、何とかしてほしい。
道路・公園整備について 計1件	
	今回の整備にともない利用者増、人流増を前提に、お年寄り、子どもに安全な公園・道路にしてほしい。 大井戸公園のリニューアルにおいては、通路等の段差解消やトイレの建て替えだけではなく、幅広い世代の方に安心して使っていただけるよう、ベンチや照明その他設備など環境整備についても、いただいたご意見を参考に検討してまいります。
管理について 計5件	
	図書館機能について、指定管理者を変えるリスクが大きいので、出来るだけ現行の図書館流通センターを指定するのが良いと思う。 運営管理事業者につきましては様々な事業者から応募を募り、最良の事業者を選定することを基本としております。現在の事業者から変更した場合は、運営に支障が出ないよう努めて参ります。
	各施設には指定管理者制度が導入されるようだが、現場で働く方は派遣になるのか、派遣制度は市にはコスト的に利があると思うが働く方にとってはどうなのか? 現在、新図書館及び新トレピエについては、指定管理者制度で民間企業が運営する想定で検討しておりますが、指定された民間企業の雇用形態までに市が関与することは出来ません。
	新図書館の貸室については、管理をダイバーシティ推進課とし、トレピエとの連携がわかるようにしてほしい。(2件) 新図書館に整備予定の貸しスペース(多目的ホール・料理教室、学習室、視聴覚室など)は、女性センター・トレピエの分館として、複合整備してほしい。 新図書館については、従来の図書館機能だけでなく、多目的ホールや多目的室などの貸館機能を複合化することで、多様な人々が学び、集い、その成果を共有するなど、世代や属性を超えた人々の活動がこの場所で連鎖し、その先で新たなつながりを形成していくことを期待しています。 この取り組みを進めていくには、図書館機能と市民交流・創造・発表・地域活動ができる貸館機能を有機的に結び付け、発展させ、持続させることができる管理運営が必要になりますことから、図書館機能と貸館機能を切り離さず一体的に運営することが重要であると考えています。 このことから、新図書館の貸しスペースについては、図書館と一体で教育委員会が所管する予定です。
事業手法について 計1件	
	発注の際に施工会社を分けてしまうと、事業費が収まらない可能性が考えられるが、どのように考えているのか。 実施設計において、事業費の精査を行いながらコスト縮減が図られるよう検討してまいります。
説明会について 計12件	
	今後もこのような意見を言える場を開いてほしい。(4件) 今後も、タウンミーティング等の開催をはじめ、市民、利用者の皆様などとの意見交換を丁寧に行なながら取組を進めてまいります。
	近隣の小中学校の児童生徒にも、学校を通して意見を聞くのはどうか。近隣の子どもたちにも良い周知の機会になると思う(保護者にも伝わるし、特にこれから施設であるため)。 市民意見の区別が聞きたい。 (学校(小中高)、若年、成人、子育て世代、高齢者 等) 子供から老人まで気軽に話し合える場を作ってほしい。 最初に司会が「一人ひとつの質問」と言われたのに、次々と10分くらい自分の意見を言っていた女性がいたが、あのようなことは司会者が止めるべきである。 トレピエの話が中心になっていて、新図書館の話が少なくて残念だった。今後はトレピエは別にしてほしい。 図書館、トレピエ、公園、運営についてなど、項目に分けて意見交換の場を設けると話がまとまりやすくなりそうだと思った。
	基本設計により施設規模や諸室配置などを決めていく際に、みなさまからの意見を伺う機会を設けたいと考えております。また、その際には、若年層を含め幅広い世代の方々のご意見が伺えるようにいたします。
	説明会の進行の仕方について、できるだけたくさんの方々に幅広いご意見を伺えるよう運営を工夫してまいります。
	いつも図書館の内容の話し合いではなく、トレピエとの調整の場になっている。(トレピエのローリング計画を別でまとめてはどうか。現状のトレピエ利用者を先に納得させるため)トレピエの貸館機能は最低限とし、新トレピエ側にまとめて計画するべきと感じた。(トレピエ建替期間は場合により、公園内仮設建築物等で対応する等)"図書館"としての基本計画をまとめた方が良いと感じた。
その他 4件	
	市民が工事に関わるような仕組みがあると良い(樹木、芝生張り、親水空間の清掃など)。 施設の整備をするにあたり、市民の皆様にも参加していただけるようなイベントについても検討していきたいと考えています。
	防災のこと、子どもの心の問題も含めて、公園整備や施設の使い方も業者任せっぱなしにせず、市民協働でつくる場面を増やしてほしい。ピオトープづくり、バイオトイレづくりなど。
	新施設のネーミングを公募して欲しい。 名称等の公募など、キャラクターを作成してほしい。 いただいた意見を参考にしながら、地域の方々に親しまれる施設になるよう検討してまいります。

新施設に求めることに関するご意見	回答
新図書館整備について 計52件	
オープンな入りやすい借りやすい図書館にしてほしい。	どの世代の方でも気軽に訪れていただける図書館にしていきたいと考えております。
新図書館ができるのを楽しみにしている。まずは地域のためであってほしい。 入口を明るくエントランスがあるようなので、入りやすい図書館、行きたくなる図書館ができたらよい。	誰もが気軽に立ち寄れ、地域に開かれた図書館にしていきたいと考えております。
本の配架は、従来の陳列ではなく「テーマ」毎にして利用しやすいものが望まれると思う。「おにくる」と近畿大学の新図書館が参考になる。	
一つのコーナーとして、本を一般的な分類ではなく、ある分野の棚に関連すると思われる本を混ぜると、偶然の出会いを楽しめるのではないか。その本 자체はほかの分野に分類されるが、何らかのつながりがあると思えるものもあると思う。 十数年前、東京の丸の内側にある丸善書店の中に、松岡正剛氏がプロデュースした松丸本舗があった。そのようなものをイメージしている。	尼崎市を含め全国のほとんどの図書館では日本十進分類法に基づき配架されております。 その中で一部の本をテーマごとに配架する手法を採用している図書館もあります。これらを参考にしながら本との出会いを作り、利用しやすい配架を行うよう、検討してまいります。
図書館は司書の方のレベルが重要。ことば蔵の本の並べ方など参考にして欲しい。	
本来の機能である閲覧、貸出は最優先で充実させてほしい。	新図書館では蔵書冊数、開架冊数を増加させ、閲覧、貸出していただきやすいよう整備してまいります。
10代のYAコーナーが充実させられそうでよかった。	現在の北図書館では建設当初はYAコーナーはありませんでしたが、10代が本に親しむきっかけとなるYAコーナーは新図書館設計段階でコーナーを設けるとともに、今以上に充実させていきたいと考えております。
月一回、図書館の多目的室を借りて勉強会をしている。今後も利用したいので使いやすくしてほしい。	学習できる部屋や閲覧席等については、多様なニーズに対応できるよう可能な限り様々な部屋やエリアを設け、コンセントやwifiなど時代に合った設備を導入し、使いやすい施設にしていきたいと考えております。
学生も含めた自習環境や起業したい人等も含めて、使いやすい環境にしてほしい。	
図書館について、窓側で勉強できるスペースが欲しいです。	新図書館は大井戸公園内に建設することから、緑が見える窓側にも学習スペースを設けたいと考えております。
町の(大阪など)大きな本屋さんには飲み物を飲みながら読書できるコーナーがあるが、計画の中にありますか。	飲み物を飲みながら読書ができるスペースは設けたいと考えております。
学習スペースの近くに電話ブースや軽食を許可するスペースが欲しい。(学習スペースの長時間利用者用)。	学習スペースは多様な場所に設ける予定であり、軽食を許可するスペース等との位置関係は全体の設計のなかで検討していくため、ご意見として参考にさせていただきます。
図書館にも授乳室は作ってほしい。	授乳室は設ける予定しております。
これまでの児童室を良い形で継続できそうで安心した。	児童室につきましてはこれまで以上に充実させていきたいと考えております。
図書館一本を読む場所、借りる場所じゃなくてもいいのかもしれない。勉強室、多目的室など名前をつけない部屋をつくっても良いのではないか。	新図書館はこれまで無かった貸館機能を加え、より多くの方にご利用していただける施設として整備します。諸室についても一つのことに特化した部屋ではなく多用途にご利用できる部屋も設けたいと考えております。
多目的室と公開スペースを多くしてほしい。ランドスケープデザインの観点を忘れず、公園との一体整備をよく考えてほしい。敷地の高低差や小川などもあればと思う。	新図書館では開架冊数を増やし、利用される方が本と出会える機会を増やしていきたいと考えております。また、公園内に建設することから、ランドスケープデザインを考慮しながら整備を進めていく予定です。
多目的室はすべて防音がいいと思う。	多目的室は多用途に使えることが望ましいため、防音についても検討いたします。
多目的ホールの音響設備としてクラシックにも対応できるとうれしい。	
作品展、コンサートのできるスペースがほしい。	
クリエイティブスタジオとして、石川県立図書館のようなミシン、3Dプリンター、UVプリンタ、レーザーカッター等の工作機器を設置したスペースを作ってほしい。尼崎らしいものづくりのコンセプトに合ったものになると思う。	貸館については多用途に利用ができるよう検討いたします。
マルチメディアの時代を考慮し、それらの再生、共聴可能な個室等を複数(大小)設置してほしい。	
ピアノを常設してほしい。運搬費用を負担すれば、寄付してくれる人は居るのではないか。	ご意見として参考にさせていただきます。
調理のできる部屋は必要だと思う。	多目的室もしくはクリエイティブスタジオなどの部屋で調理スペースについて検討いたします。
トレピエで料理教室を利用していたので設置を希望する(親子でキッチンで活動希望)。	
トレピエの貸館をなくすのであれば、すべて含まれるものでなければ理解ができない。	トレピエの貸室をなくすのではなく、男女共同参画社会づくり・ジェンダー平等を推進するために必要な講座やセミナーを実施する講座室、相談室等を備えた施設を整備していくこととし、主催の講座等を実施していない時は、講座室を貸し出すことを検討しております。 新図書館の貸館については、多用途に利用ができるよう検討いたします。
新図書館については、北図書館と同様にインターネットの閲覧、検索が出来るようにしてほしい。	インターネットの閲覧、検索ができる機能は引き続き継続してまいります。

新図書館のカフェについては、民間営利業者ではなく、福祉作業所や、トレビエのカフェのような、市民・公共的運営ができるよう、条件付けてほしい。民間を入れると周辺の民間業圧迫になるかもしれない。	
カフェは営利目的とする業者ではなく、就労支援も兼ねてNPO団体等に委託する形にして欲しい。	カフェについては持続可能な仕組みを採用し、利用者の方が安定的に心地よく飲食できるよう様々な手法を検討していきたいと考えております。
持続的なものにするために、カフェのスペースは最小限で良いと思う。	
カフェのイメージを聞いて、図書館の邪魔をしないとわかり、ホッとした。東京練馬のちひら図書館へ今年行ったが、少しだけほっこりしつつ本を読めたので、規模は違うけど参考にしてほしい。	
カフェが公園側で良かった。	カフェの場所については眺めの良い場所が望ましいと考えており、全体の設計のなかで設置場所等も含めた詳細を検討してまいります。
ターゲット通りに子育て中の方が利用しやすい設備は欲しい。遊び場的な場所・子どもの居場所(プラザなどで集まって過ごしている子どもが多い)となる場所も併設してほしい。共働きで鍵っ子が増えている。	子育て中の保護者が子連れで来館された際に、周りに気兼ねなく利用でき、子どもだけで来館した際も、家や学校以外の第三の居場所となる施設にしていきたいと考えております。
六甲山が眺められると良い。小学校の校歌にも「六甲の山～」とあつたり、地域の一体感につながると思う。	施設全体の設計の中で検討してまいります。
どこでも読める、喋れるような開放的な空間にしてほしい。窓を多く設けて外の景色が見える、自然光が入る図書館にしてほしい。	施設内の様々な場所で本を読んでいただき、喋ることが可能なエリアもつくり、にぎわいのある図書館にしていきたいと考えております。窓や採光については、日光による劣化等にも配慮しつつ、施設全体の設計の中で検討してまいります。
ヘルシンキ中央図書館(フィンランド)に行ったことがあるが、空間の素晴らしさに感動した。今回、大井戸公園と一体感のある開放的な空間を設計して欲しい。	
カフェ、エントランスホール、屋外テラス、広場はそれぞれ閉じた空間ではなく、グランピーリングのように必要に応じてテーブル、イスを広げて作れるようなフレキシブルな空間になれば良いと思う。	公園の中に建設する図書館のため、公園と一体感のある設計にしていきたいと考えております。
階段を分けるなど、幼い子、10代、大人がうまく動線がありながら住みわけも良くできるよう、又、公園ともデザイン化されることを楽しみにしています。	いろいろな世代が気兼ねなく過ごせる配置計画にしていきたいと考えております。
子ども達が館内で声を出したり、走り回ってもよい場所にしてほしい。	
駐車場がなく障害者が入口迄入れない、屋内の障害者対応、利用ができるか理解できない。	
ますます高齢者が増える見込みから、車イス、杖使用の方が使いやすくしてほしい(親切なようで現実には使いにくい所が多いので)。	障害者や体の不自由な方などにご利用いただきやすいよう、館内にアクセスしやすい位置に障害者用駐車場を設置し、館内もバリアフリーにしたいと考えております。
老若男女誰でも使いやすい入りやすい施設を望む。子育て世代だけでなく、特に高齢者が過ごしやすいように配慮してほしい。	高齢者に限定せず全ての方に来館していただきやすい施設にしていきたいと考えております。
静かな図書館ではなく静かな音、クラシック等が流れる空間を望む。	BGMは居心地のよさやにぎわいづくりの一助となり得るため、導入について検討してまいります。
デザイン性が高いのも結構だが、本の日焼け等、長く施設利用する上のメリット、デメリットを冷静に選定してほしい。金沢レベルの全国的に見ても目立つような図書館は、中央図書館の方に期待したい。	デザインと使い勝手が両立した図書館にしていきたいと考えております。
ホールを作るなら駐車場は必要では?	想定する基本的な利用者層としては、近隣住民を中心とした市内居住者であり、その多くは徒歩又は自転車による来館が予想されることから、駐車場については、事業者提案も踏まえる中で、必要最低限の台数を整備することを考えております。駐車場を整備する場合でも、限られた敷地内であることから施設規模等を考慮しながら設置規模や料金について検討してまいります。
駐車場のスペースはあるのか(地下とか)。	
駐車場は一般用は不要だと思う。もし作るなら有料にした方が良い。	
本の取扱いは中央よりも多く、来館者も多いので、来館者の移動手段の自転車置場(雨の対応も含め)も検討してほしい。	駐輪場は景観や利便性を考慮しながら設置場所等について検討してまいります。
今、北図書館の近くに住んでいるが、駐輪場と道路の位置関係に配慮してほしい。	
夜に開館していると町がさわがしくなってしまうので嫌だが、日・祝は閉館時間が早くて行けない時もあるので、出来れば少しだけ閉館時間を延ばしてほしい。	開館時間については利用者の希望やこれまでの利用状況等を総合的に勘案して検討していきたいと考えております。
利用開始前、開始後も含め利用者の意見が反映できるような会議体を作ってほしい。	利用者の意見は窓口やアンケート等でおうかがしているところですが、運営についての意見をより反映しやすい手法について検討して参ります。
意見でも発言した通り、西富松会館は古い。ぜひとも北図書館内に低成本で借りられる代館が欲しい。	新図書館内に貸館を設置することからぜひご利用いただきたいと考えております。
自治会用のパッカヤードや供用物が低コストで欲しい。自治会は今後重要なのではないか。	自治会向けの貸倉庫の設置は考えておりません。自治会の会議であれば貸室をご利用いただければと思います。

新トレピエ整備について 計5件	
新トレピエは誰でも利用しやすい建物に、入りやすいものに。カフェなどが併設されたらしい。	現トレピエは、施設名称が女性センターであり、男性が利用しづらいといった声があること等から、今後付属機関などで様々なご意見を伺いながら、誰もが利用しやすい施設になるよう検討してまいります。 なお、カフェについては、施設の機能として親和性が高い図書館の中に設置する予定です。
新トレピエに居場所カフェを整備してほしい。	
子どもづれで参加できる「子育て教室」を企画してほしい。	現在もお子様連れでご参加頂ける絵本の読み聞かせなどのセミナーを実施しております。新トレピエにおいても、子育て世帯等、様々な方に事業に参加してもらえるよう、引き続き検討してまいります。
新トレピエと貸館の連携において、雨天時の相互間の移動で雨に濡れない手立ての検討をお願いする。	雨天時の相互間での雨に濡れない手立てとして、例えば、両施設に渡り廊下等で接続することが考えられますが、道路内には原則として建築物を設けることができないことから、物理的な対策は難しいと考えておりますが、両施設の連携については、施設運営面での工夫等を行うよう検討してまいります。
全施設にオールジェンダートイレの設置をお願いする。	新トレピエについて、オールジェンダートイレの設置は必要であると考えており、今後、付属機関等で様々なご意見を伺いながら、検討してまいります。また、新図書館においても、どのような方にもご利用いただきやすいトイレの設置を検討してまいります。
公園整備について 計9件	
「おにクル」に足りないのは緑地の使い方だと思う。バラ園+コミュニティファームというのはどうか。	バラ園や緑豊かな環境は大井戸公園の魅力であると認識しており、新図書館との一体的な利用を考慮した広場整備なども行なうながら、可能な限りみどりの保全やバラ園の魅力向上など、これまで以上に活かすための取り組みなどについて、市民の皆さんのご意見を踏まえながら進めてまいりたいと考えています。
大井戸公園は話に出なかったが、舞台(小あがり)や電源、水道などもイベントで使いやすくなればと思う。 西宮市役所前公園に舞台電源があるため、参考に出来るのではないか。	大井戸公園は現状においても、様々な団体にご利用いただいており、再整備に合わせて、現在利用されている団体や市民の皆さんにもご意見を伺いながら、必要な設備について検討してまいります。
大井戸公園でイベントなどしやすい設備とが充実してほしい。	
WOODYの北側の水場をもっときれいで水に親しめるようにしてほしい。	現状、公園北側のせせらぎ水路については、親水空間としてはの魅力を十分に発揮できていない面もあるため、今後の設計業務を通じて公園内における魅力的な親水空間の在り方などを検討してまいります。
公園は老若皆が楽しんで参加(散歩)できるように整備してほしい。	
公園の中でゆっくりくつろげる空間にしてほしい。	
公園内の色々の形のベンチを設置してほしい。	
ベンチ、休憩できる場所をこまめに配置してほしい。	
公園周辺がかなり暗くなるので、街灯など設置して安心して通れるところにしてほしい。	
新図書館・公園整備について 計3件	
防災、避難対策、かまどベンチ、マンホールトイレ、防災グッズ、調理ブース災害時対応が必要。	近隣にある学校が災害時の避難所となっていることも踏まえながら、新図書館や公園に必要な防災機能について検討してまいります。
防災機能、避難所としての考え方が必要。	
防災拠点・避難所として利用できること。	